

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 西伊敷

【計画】

作成担当者： 佐伯 淳司

開催日時	令和02年02月21日 14:00 ~ 15:30	開催場所	伊敷公民館 第一研修室
参加者	居宅介護支援事業所：37人、NPO法人：1人、福祉用具貸与事業所：2人、地域包括支援センター職員：3人		
	総数 43人		
内容	テーマ	①ヒアリングハラスメントと難聴について ②介護保険以外の福祉サービスについて	
	目的	日頃、対人援助を遂行している専門職にとって、対象者の理解度が不明で、難聴か認知症の疑いを検討する場面がある。難聴やヒアリングハラスメント等についての理解を深める勉強会を実施することで、専門職の技術向上を図る。	
	概要	①声と音のバリアフリーを目指して活動しているNPO法人の理事を講師として招き、西伊敷圏域の介護支援専門員にヒアリングハラスメントと難聴について学んでいただき、理解を深める。 ②介護保険以外の福祉サービスについて、資料を用いて説明し周知と理解を図る。	

【結果】

開催日時	令和02年02月21日 14:00 ~ 15:15	開催場所	伊敷公民館 第一研修室
参加者	居宅介護支援事業所：35人、NPO法人：1人、福祉用具貸与事業所：2人、地域包括支援センター職員：3人		
	総数 41人		
内容	①ヒアリングハラスメントと難聴について 1. ヒアリングハラスメント事例についての動画や、“難聴”が引き起こす誤解をテーマにしたショートムービーを視聴する。 2. 認知症ではないのに難聴のため周囲から認知症になったと誤解を受けるケースや、聴力のスクリーニングを実施せずに認知機能検査が実施されることもある。医療・福祉関係者は難聴者の理解や対応方法を再度検討していく必要があるとの講義を受ける。 3. 難聴者とのコミュニケーションや相談対応時に活用できる対話型支援機器の説明を受ける。		
	②介護保険以外の福祉サービスである介護手当や長寿あんしんネットワークメールについて概要説明、介護支援専門員へ情報伝達する。		
今後の課題など	難聴者に対する支援方法を再度検討し、既存のツール・機器などを活用していく必要がある。		